

「令和2年度 第74回東白川中学校卒業証書授与式」村長祝辞

伝統ある東白川中学校を卒業する13名の皆さん、御卒業、誠におめでとうございます。

昨年に引続き、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中での卒業式の開催となりましたが、卒業生全員が揃って出席でき、大変嬉しく思います。

そして、今日まで皆さんを深い愛情で見守り育てられました保護者の皆様にも心からお慶びを申し上げますとともに、古田校長先生をはじめ教職員の皆様方には、これまで温かく、時には厳しく子供たちを導いていただいた御労苦に対し深く感謝を申し上げます。

さて先ず始めに、卒業生、在校生、PTAの皆様、教職員の皆様、全ての学校関係者の皆様に対し、臨時休校や修学旅行など様々な学校行事の変更や中止をお願いしたこと、日々の学校生活において新型コロナウイルス感染防止対策に協力していただいたことに、この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

このように例年とは違ったかたちとなりましたが、この一年間を振り返りますと、体育大会でのさすが3年生と思わせてくれた頑張りや、ふるさと学習発表会で全校生徒のリーダーとしての自覚に基づく立派な発表をととても頼もしく感じました。

そうした中学校卒業という節目のときを迎えた卒業生の皆さんにお祝いと激励の言葉を贈りたいと思います。

1つ目、それは「感謝力」という言葉です。

私が最近読んで感動した文章を引用しますが、「人生には奇跡を起す方程式が存在する。才能、運、努力これらは足し算だが掛け算になるものが一つだけある、それは感謝力だと」

この人生の方程式、人がどれだけ才能に恵まれていても、いくら努力しても、いくら幸運に恵まれても、感謝する心のない人の人生の答えは失敗になってしまうという例えです。

まずは今日の日を感謝して下さい

こうして成長できたのもここまで皆さんを励まし沢山の愛情をもって、育て見守って下さった御家族、恩師の先生方の温かい心があったのことであり、皆さんに対する感謝の気持ちを忘れずにいて欲しいということです。

もう一つお願いがあります、

御両親から授かった皆さんの身体を大切にしたいということです。この村で御家族や先生方、地域の方々に見守られてすくすくと育った皆さんは、これからの人生において予想もできないような危険や誘惑、ストレスなどを体験すると思います。コロナ感染症が終息するまでまだまだ先が見通せない今こそ、このことを特にお願ひしたいと思います。健康な身体を作り、維持してこそ、皆さんの夢や希望をかなえることができるのです。

どうか、「感謝」と「健康」この二つの言葉を心の片隅にとめておいて、自分の夢に向かって努力を惜しむことなく邁進して、たくましく成長して下さるよう心から祈っております。

東白川村は未来永劫、あなた方の故郷であることに変わりはありません。今後この村を離れることになっても、東白川村をいつまでも忘れずに、そして機会に恵まれたならばこの村に帰ってきて若い力で活躍いただけたら、この上無い喜びとするところであります。

私たち東白川村民は、皆さんが育ったこの故郷をしっかりと守り、次の世代に引き継いでいきます。

結びに、卒業生の皆さんと御家族の皆様の末永い幸せをお祈り申し上げまして祝辞とします。

令和3年3月16日

東白川村長 今井俊郎